

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

数値は顧客が喜んだ結果かどうかをチェックする 堀田 力 (弁護士・さわやか福祉財団理事長)

1. 現代は能力主義、成果主義の競争社会です。競争に勝つことが重要になると、少々賞味期限をぐまかしても、インチキを発売しても商品が売ることが先というふうになってくる。社員個々も、個人の能力が顧客開拓数や売り上げといった単位で評価されることになります。こうした数値に個人のモラルは反映されませんから、評価を得るには数字優先となります。
2. 顧客にウソをつかないこと、喜ばれるということは後回しにされ、その結果、数字や視聴率を上げるために人を騙したり、いい加減なものを作るというほうに走ってしまう。能力主義になるということは、モラルが低下しやすい要素をもととはらんでいる。だからこそ今は、しっかり経営者がメッセージを出すと同時に、上がってきている数値が、顧客が喜んだ結果としての数値になっているのかを、常にチェックする仕組みを仕込んでおくことが大切でしょう。
3. カネ儲け目的では今の人はがんばりません。「人の役に立ちたい、自分の能力を生かしたい」が、がんばる原動力となっています。企業としては、そうした人を探すべきですし、変なことをしている会社には、このような有能な人はまず来ません。結局、会社や社会の発展につながらないわけです。
(参考:「週刊ダイヤモンド」2007年3月3日号)

人事・労務について

「働きがいのある会社」の定義

1. 米経済誌「フォーチュン」が、毎年1月に掲載する「働きがいのあるベスト100」によると、「従業員が会社や経営者、管理者を信頼し、自分の仕事に誇りを持ち、一緒に働いている人たちと連帯感が持てる会社」が、「働きがいのある会社」として定義づけられている。
2. そして、働きがいを実現する要素を「信用」(従業員が経営陣を信用しているか)、「尊敬」(経営陣が従業員を大切な人として尊敬しているか)、「公正」(適切な評価や処遇がなされているか)、「誇り」(従業員が自分の仕事や会社、商品・サービスに誇りを持っているか)、「連帯感」(自分の所属する組織に連帯感があるか)、という5つに分類している。(参考:「日経ビジネス」:2007年2月19日号)

海外事情

トウモロコシの価格が高騰 (米国)

1. 環境に優しい車、いわゆるエコカーの燃料として米国で期待が高まるエタノール。ビッグ3が政府に対してエタノールが給油できるガソリンスタンドの全国的な展開への協力を要請するなど、エタノール需要の増加が見込まれている。現在全米には114ヶ所のエタノール精製工場があるが、今年中に80ヶ所が新たに建設される予定だ。
2. これを見込んで農家では、昨年と比べてエタノール原料となるトウモロコシの作付面積を15%増やす、などの対応を急いでいる。それに伴い、トウモロコシの価格は急騰している。特に影響を受けているのは酪農家で、家畜の飼料が昨年比で2倍に値上がりし、これが徐々に牛乳、肉、卵などの食料品価格に反映されはじめている。(参考:「WEDGE」2007年6月号)

古典に学ぶ

人は口を信ぜず

「信を人に取ること難し。人は口を信ぜずして 躬みを信じ、躬を信ぜず心を信ず。是れを以て難し」
(訳) 信用を得ることは難しい。いかに言葉巧みでも人は口を信じないで行を信じる。実は行いではなく心を信じるものである。
(参考:佐藤一斎「言志四録」:PHP文庫)